

## 10/22 油流出事故の対応訓練を開催しました！

今年度、管内では多くの油の流出事故が発生しています。主な原因はホームタンクが老朽化などにより破損したものです。

川に油が流出すると、水質が悪化し魚類等の生息や農業用水等の取水もできなくなる場合があります。そのため、更に下流へ油が流出しないよう、河川内での回収作業が必要になります。

岩見沢河川事務所では迅速かつ的確な対応を行うため、10/22 に市町村、消防と共に訓練を実施しました。訓練には 30 名程度が参加し、オイルフェンスの設置訓練や河川に流出した油の回収作業を行う上での留意点を確認しました。



水質事故対応訓練の状況

きれいな河川を守るためにも、油の取り扱いに十分注意を！

- ・タンクや配管の劣化損傷のチェック
- ・給油中はその場を離れない
- ・バルブの閉め忘れの確認
- ・油がこぼれたら速やかに回収

万が一油が流出した際は、すぐに河川事務所や市町村、消防署に連絡をお願いします。  
【速やかな対応が被害の拡大を防ぎます】

## 放流した鮭が戻ってきました！

幾春別川を良くする市民の会の主催により、小学生 33 名参加により、幾春別川を遡上する鮭の特別採捕見学会が行われました。岩見沢河川事務所では海から帰ってきた鮭の観察を通じて、水辺環境の保全の大切さを理解してもらうため、見学会と併せて川の水質調査・水生生物調査を行い、小学生 33 名が参加しました。

毎年 4 月には岩見沢河川事務所や地域の小中学校、幼稚園・保育園などで発眼卵から飼育した稚魚を放流しています。海で育った鮭が生まれた川に戻って来るよう、川のきれいな利用をお願いします。



川向頭首工に整備した魚道

## 魚がのぼりやすい川づくり

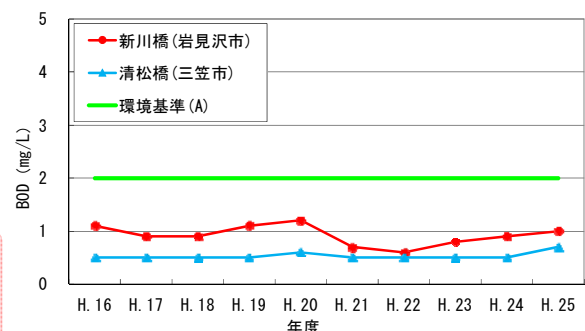
見学会が行われた川向頭首工は川から農業用水を取り入れるための施設です。河川を横断する施設により河道に大きな落差が生じた場合、魚の遡上の障害になります。岩見沢河川事務所では施設管理者と調整・連携を図り、「魚道」を整備しています。

## 幾春別川の水質

河川の水質を評価する指標として一般的には「BOD」が使われます。右のグラフは幾春別川の 2 つの観測点における BOD の測定結果です。どちらも安定して環境基準(A)を十分に下回っており、きれいな河川です。

## BOD(生物化学的酸素要求量)とは？

微生物が汚れを分解するために必要な酸素量のことで、BOD が高い程、汚れの量が多いため、川が汚れていることとなります。



BOD75%値の経年変化

## お問い合わせ先

国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部 岩見沢河川事務所 計画課  
〒068-0007 岩見沢市7条東9丁目3番1号 TEL : 0126 (23) 9555

